

【表紙】

|            |                                       |
|------------|---------------------------------------|
| 【提出書類】     | 四半期報告書                                |
| 【根拠条文】     | 金融商品取引法第24条の4の7第1項                    |
| 【提出先】      | 関東財務局長                                |
| 【提出日】      | 2024年2月9日                             |
| 【四半期会計期間】  | 第36期第3四半期（自 2023年10月1日 至 2023年12月31日） |
| 【会社名】      | 株式会社ゲオホールディングス                        |
| 【英訳名】      | GEO HOLDINGS CORPORATION              |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長執行役員 遠藤 結蔵                     |
| 【本店の所在の場所】 | 愛知県名古屋市中区富士見町8番8号                     |
| 【電話番号】     | 052 - 350 - 5711                      |
| 【事務連絡者氏名】  | 取締役常務執行役員 村上 幸正                       |
| 【最寄りの連絡場所】 | 愛知県名古屋市中区富士見町8番8号                     |
| 【電話番号】     | 052 - 350 - 5711                      |
| 【事務連絡者氏名】  | 取締役常務執行役員 村上 幸正                       |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所<br>（東京都中央区日本橋兜町2番1号）      |

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

| 回次                             | 第35期<br>第3四半期連結<br>累計期間            | 第36期<br>第3四半期連結<br>累計期間            | 第35期                              |
|--------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間                           | 自2022年<br>4月1日<br>至2022年<br>12月31日 | 自2023年<br>4月1日<br>至2023年<br>12月31日 | 自2022年<br>4月1日<br>至2023年<br>3月31日 |
| 売上高 (百万円)                      | 279,696                            | 327,401                            | 377,300                           |
| 経常利益 (百万円)                     | 12,247                             | 14,399                             | 11,926                            |
| 親会社株主に帰属する四半期<br>(当期)純利益 (百万円) | 7,232                              | 9,308                              | 5,681                             |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円)            | 7,258                              | 9,282                              | 5,669                             |
| 純資産額 (百万円)                     | 83,521                             | 85,712                             | 77,212                            |
| 総資産額 (百万円)                     | 203,162                            | 226,138                            | 201,804                           |
| 1株当たり四半期(当期)純利<br>益 (円)        | 170.53                             | 235.21                             | 135.93                            |
| 潜在株式調整後1株当たり四半<br>期(当期)純利益 (円) | 169.87                             | 233.57                             | 135.35                            |
| 自己資本比率 (%)                     | 40.9                               | 37.8                               | 38.1                              |

| 回次              | 第35期<br>第3四半期連結<br>会計期間             | 第36期<br>第3四半期連結<br>会計期間             |
|-----------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 会計期間            | 自2022年<br>10月1日<br>至2022年<br>12月31日 | 自2023年<br>10月1日<br>至2023年<br>12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益 (円) | 63.80                               | 90.55                               |

(注) 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社関係会社)が営む事業内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありました株式会社おお蔵を、株式会社OKURAを存続会社とする吸収合併により、連結の範囲から除外しております。

また、2023年5月1日付で株式会社BANK OKURAを新たに設立しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 経営成績等の状況の概要

経営成績に関する説明

連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

当第3四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の「5類感染症」への位置づけに変更されるなど経済が自律的に循環する環境が整い、各地域で人流が回復し対人サービス業の需要回復が進みました。一方で世界的な金融引き締めや、中国経済の先行き懸念、中東情勢の緊迫化など海外景気の下振れ影響や、円安進行および物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

リユース業界におきましては、SDGs実現に向けた取り組みに伴うリユース意識の高まりや、物価高騰に伴う生活防衛策としてのリユース需要を背景に、市場全体が成長しております。

このような環境のなか、当社グループは「豊かで楽しい日常の暮らしを提供する」ことを目指し、2nd STREETを中心とした総合リユース店舗の新規出店を国内外において積極的に続けております。

リユース系リユース商材の動向といたしましては、リユースラグジュアリー商材を扱うOKURA TOKYOは小売販売を中心に好調に推移しております。商品構成の中心であるリユース衣料・服飾雑貨は消費者の消費スタイルの変化の浸透を背景にリユース需要は継続し、国内外の2nd STREETが好調に推移した結果、リユース系リユース商材全体の売上は増加しております。

メディア系リユース商材の動向といたしまして、ゲーム関連商材は旧作ゲームソフトの根強い人気や、前年度下期より需給バランスが改善しておりました家庭用ゲーム機本体のリユース市場への供給増加を背景に、売上は堅調に推移いたしました。また、スマートフォンやタブレット端末等のリユース通信機器の市場の広がりに対応する形で、「GEO mobile」の単独店出店やゲオ店舗への併設を積極的に展開し、通信機器の販売を伸ばしております。以上の理由により海外向けスマートフォン卸売が前年同期で好調だった反動減があったものの、メディア系リユース商材全体の売上は増加いたしました。

新品商材の動向といたしましては、前年同期に比べ新作ゲームソフトのヒットタイトルには恵まれなかったものの、家庭用ゲーム機本体やトレーディングカードの販売増が牽引し、売上は増加いたしました。

また、外国為替相場の円安進行により、為替差益412百万円を計上いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高327,401百万円(前年同期比17.1%増)、営業利益13,343百万円(前年同期比17.5%増)、経常利益は14,399百万円(前年同期比17.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,308百万円(前年同期比28.7%増)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における当社グループの店舗数の状況は以下のとおりとなりました。  
( )内は、前連結会計年度末との増減数であります。

|                    | 直営店   |     | F C店・代理店 |     |   | 合計 |             |
|--------------------|-------|-----|----------|-----|---|----|-------------|
|                    | 出店数   | 退店数 | 出店数      | 退店数 |   |    |             |
| ゲオグループ店舗数          | 1,929 | 127 | 41       | 168 | 1 | 13 | 2,097 (+74) |
| GEO                | 983   | 40  | 21       | 113 | 0 | 12 | 1,096 (+7)  |
| 2nd STREET (国内)    | 777   | 37  | 8        | 55  | 1 | 1  | 832 (+29)   |
| 2nd STREET (米国)    | 31    | 8   | 0        | 0   | 0 | 0  | 31 (+8)     |
| 2nd STREET (台湾)    | 26    | 8   | 0        | 0   | 0 | 0  | 26 (+8)     |
| 2nd STREET (マレーシア) | 16    | 5   | 0        | 0   | 0 | 0  | 16 (+5)     |
| 2nd STREET (タイ)    | 1     | 1   | 0        | 0   | 0 | 0  | 1 (+1)      |
| OKURA TOKYO (おお蔵)  | 22    | 2   | 3        | 0   | 0 | 0  | 22 ( 1)     |
| LuckRack           | 19    | 4   | 6        | 0   | 0 | 0  | 19 ( 2)     |
| その他                | 54    | 22  | 3        | 0   | 0 | 0  | 54 (+19)    |

- (注) 1. 屋号毎の店舗数をカウントしています。  
2. GEOは家庭用ゲーム・携帯電話・スマートフォンの買取販売、DVDレンタル等を行う店舗(屋号: GEO、GEO mobile)をカウントしています。  
3. 2nd STREETは衣料品や家電製品等の買取販売を行う店舗(屋号: 2nd STREET、Super 2nd STREET、2nd OUTDOOR、JUMBLE STORE等)をカウントしています。

#### 財政状態の分析

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は151,219百万円となり、前連結会計年度末に比べ19,907百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,468百万円、売掛金が4,874百万円、商品が10,723百万円増加したことによるものであります。固定資産は74,919百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,426百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産のその他が1,285百万円減少した一方、建物及び構築物(純額)が2,960百万円、無形固定資産が1,139百万円、敷金及び保証金が627百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、226,138百万円となり、前連結会計年度末に比べ24,333百万円増加いたしました。

##### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は51,564百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,338百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が1,416百万円、1年内返済予定の長期借入金が956百万円増加したことによるものであります。固定負債は88,861百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,495百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が11,668百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、140,425百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,833百万円増加いたしました。

##### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は85,712百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,500百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益9,308百万円及び剰余金の配当949百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は37.8%(前連結会計年度末は38.1%)となりました。

(2) 経営者の視点による経営成績等の状況に関する分析・検討内容

経営者の視点による当社グループの経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容は次のとおりであります。

財政状態及び経営成績の状況に関する認識及び分析・検討内容

「(1) 経営成績等の状況の概要」に記載のとおりであります。

重要な会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定

前事業年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」中の会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について重要な変更はありません。

経営方針・経営戦略等又は経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等

当社グループの目標とする経営指標と当第3四半期連結累計期間の実績は次のとおりであります。

なお、前事業年度の有価証券報告書に記載した経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等について重要な変更はありません。

|                                | 2023年3月期<br>第3四半期連結<br>累計期間<br>(実績) | 2024年3月期<br>第3四半期連結<br>累計期間<br>(実績) | 2023年3月期<br>(実績) | 2024年3月期<br>(業績予想) |
|--------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------|--------------------|
| 売上高 (百万円)                      | 279,696                             | 327,401                             | 377,300          | 428,000            |
| 営業利益 (百万円)                     | 11,357                              | 13,343                              | 10,620           | 17,000             |
| 経常利益 (百万円)                     | 12,247                              | 14,399                              | 11,926           | 18,000             |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)<br>純利益 (百万円) | 7,232                               | 9,308                               | 5,681            | 9,000              |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 (円)            | 170.53                              | 235.21                              | 135.93           | 227.42             |

|              | 2023年3月期<br>第3四半期連結<br>累計期間<br>(実績) | 2024年3月期<br>第3四半期連結<br>累計期間<br>(実績) | 2023年3月期<br>(実績) | 中長期的目標 |
|--------------|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------|--------|
| 売上高営業利益率 (%) | 4.1                                 | 4.1                                 | 2.8              | 5.0    |

レンタル商材の売上逓減やリユースラグジュアリー商材、ゲームを中心とする新品商材の売上高比率が高まったことにより売上高総利益率が低下したものの、連結売上高の増加により販売費や人件費、地代家賃等の増加を吸収し、売上高営業利益率につきましては、4.1%となりました。

(3) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

| 種類   | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 200,000,000 |
| 計    | 200,000,000 |

###### 【発行済株式】

| 種類   | 第3四半期会計期間末現在発行数(株)<br>(2023年12月31日) | 提出日現在発行数(株)<br>(2024年2月9日) | 上場金融商品取引所名<br>又は登録認可金融商品<br>取引業協会名 | 内容            |
|------|-------------------------------------|----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 39,670,052                          | 39,675,552                 | 東京証券取引所<br>プライム市場                  | 単元株式数<br>100株 |
| 計    | 39,670,052                          | 39,675,552                 |                                    |               |

(注) 「提出日現在発行数」欄には、2024年2月1日以降この四半期報告書提出日までの新株予約権の権利行使により発行されたものは含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日                                | 発行済株式総<br>数増減数<br>(株) | 発行済株式総<br>数残高(株) | 資本金増減額<br>(百万円) | 資本金残高<br>(百万円) | 資本準備金増<br>減額<br>(百万円) | 資本準備金残<br>高<br>(百万円) |
|------------------------------------|-----------------------|------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 2023年10月1日～<br>2023年12月31日<br>(注)1 | 30,000                | 39,670,052       | 25              | 9,224          | 25                    | 142                  |

(注)1. 新株予約権の行使による増加であります。

2. 2024年1月1日から2024年1月31日までの間に、新株予約権の行使により、発行済株式総数が5,500株、資本金及び資本準備金がそれぞれ4百万円増加しております。

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2023年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2023年12月31日現在

| 区分             | 株式数(株)          | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式         | -               | -        | -  |
| 議決権制限株式(自己株式等) | -               | -        | -  |
| 議決権制限株式(その他)   | -               | -        | -  |
| 完全議決権株式(自己株式等) | -               | -        | -  |
| 完全議決権株式(その他)   | 普通株式 39,628,100 | 396,281  | -  |
| 単元未満株式         | 普通株式 11,952     | -        | -  |
| 発行済株式総数        | 39,640,052      | -        | -  |
| 総株主の議決権        | -               | 396,281  | -  |

(注) 「完全議決権株式(その他)」の「株式数」欄には、証券保管振替機構名義の株式100株が含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

【自己株式等】

2023年12月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------|--------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| -          | -      | -            | -            | -           | -                      |
| 計          | -      | -            | -            | -           | -                      |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2023年10月1日から2023年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

|               | 前連結会計年度<br>(2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(2023年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| <b>資産の部</b>   |                         |                               |
| 流動資産          |                         |                               |
| 現金及び預金        | 44,286                  | 45,755                        |
| 売掛金           | 11,712                  | 16,586                        |
| 商品            | 64,241                  | 74,965                        |
| その他           | 11,294                  | 14,189                        |
| 貸倒引当金         | 223                     | 278                           |
| 流動資産合計        | 131,311                 | 151,219                       |
| 固定資産          |                         |                               |
| 有形固定資産        |                         |                               |
| 建物及び構築物(純額)   | 14,955                  | 17,915                        |
| その他(純額)       | 25,892                  | 26,876                        |
| 有形固定資産合計      | 40,847                  | 44,792                        |
| 無形固定資産        |                         |                               |
| 投資その他の資産      | 3,264                   | 4,403                         |
| 敷金及び保証金       |                         |                               |
| 敷金及び保証金       | 18,033                  | 18,660                        |
| その他           | 9,098                   | 7,813                         |
| 貸倒引当金         | 751                     | 750                           |
| 投資その他の資産合計    | 26,380                  | 25,723                        |
| 固定資産合計        | 70,492                  | 74,919                        |
| 資産合計          | 201,804                 | 226,138                       |
| <b>負債の部</b>   |                         |                               |
| 流動負債          |                         |                               |
| 買掛金           | 16,034                  | 15,634                        |
| 短期借入金         | 6,000                   | 7,416                         |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 7,487                   | 8,443                         |
| 未払法人税等        | 2,780                   | 2,453                         |
| その他           | 16,923                  | 17,616                        |
| 流動負債合計        | 49,225                  | 51,564                        |
| 固定負債          |                         |                               |
| 長期借入金         | 54,462                  | 66,131                        |
| 資産除去債務        | 7,054                   | 7,221                         |
| その他           | 13,849                  | 15,508                        |
| 固定負債合計        | 75,366                  | 88,861                        |
| 負債合計          | 124,592                 | 140,425                       |
| <b>純資産の部</b>  |                         |                               |
| 株主資本          |                         |                               |
| 資本金           | 9,081                   | 9,224                         |
| 資本剰余金         | 3,493                   | 3,636                         |
| 利益剰余金         | 64,386                  | 72,745                        |
| 自己株式          | -                       | 0                             |
| 株主資本合計        | 76,962                  | 85,606                        |
| その他の包括利益累計額   |                         |                               |
| その他有価証券評価差額金  | 2                       | 2                             |
| 為替換算調整勘定      | 69                      | 110                           |
| その他の包括利益累計額合計 | 66                      | 113                           |
| 新株予約権         | 316                     | 189                           |
| 非支配株主持分       | -                       | 29                            |
| 純資産合計         | 77,212                  | 85,712                        |
| 負債純資産合計       | 201,804                 | 226,138                       |

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

( 単位：百万円 )

|                  | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 2022年4月1日<br>至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 2023年4月1日<br>至 2023年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高              | 279,696  | 327,401  |
| 売上原価             | 171,721  | 208,433  |
| 売上総利益            | 107,975  | 118,968  |
| 販売費及び一般管理費       | 96,618   | 105,624  |
| 営業利益             | 11,357   | 13,343   |
| 営業外収益            |  |  |
| 為替差益             | 349  | 412  |
| 不動産賃貸料           | 572  | 698  |
| その他              | 626  | 840  |
| 営業外収益合計          | 1,549  | 1,951  |
| 営業外費用            |  |  |
| 支払利息             | 177  | 204  |
| 不動産賃貸費用          | 317  | 418  |
| その他              | 163  | 271  |
| 営業外費用合計          | 658  | 894  |
| 経常利益             | 12,247   | 14,399   |
| 特別利益             |  |  |
| 固定資産売却益          | -  | 344  |
| 特別利益合計           | -  | 344  |
| 特別損失             |  |  |
| 減損損失             | 79   | 194  |
| 特別損失合計           | 79   | 194  |
| 税金等調整前四半期純利益     | 12,168   | 14,550   |
| 法人税、住民税及び事業税     | 3,785  | 3,854  |
| 法人税等調整額          | 1,150  | 1,366  |
| 法人税等合計           | 4,935  | 5,221  |
| 四半期純利益           | 7,232  | 9,328  |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | -  | 20   |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 7,232  | 9,308  |

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

|                 | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 2022年4月1日<br>至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 2023年4月1日<br>至 2023年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益          | 7,232  | 9,328  |
| その他の包括利益        |  |  |
| その他有価証券評価差額金    | 14   | 5  |
| 繰延ヘッジ損益         | 0  | -  |
| 為替換算調整勘定        | 10   | 41   |
| その他の包括利益合計      | 25   | 46   |
| 四半期包括利益         | 7,258  | 9,282  |
| (内訳)            |  |  |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 7,258  | 9,261  |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | -  | 20   |

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

|              | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 2022年4月1日<br>至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 2023年4月1日<br>至 2023年12月31日) |
|--------------|--|--|
| 減価償却費        | 3,330百万円                                       | 3,991百万円                                       |
| レンタル用資産減価償却費 | 2,481  | 2,253  |
| のれんの償却額      | 56   | 124  |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

配当金支払額

| (決議)                 | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(百万円) | 1株当たり<br>配当額<br>(円) | 基準日        | 効力発生日      | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 2022年6月29日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 508             | 12                  | 2022年3月31日 | 2022年6月30日 | 利益剰余金 |
| 2022年11月11日<br>取締役会  | 普通株式  | 508             | 12                  | 2022年9月30日 | 2022年12月9日 | 利益剰余金 |

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

配当金支払額

| (決議)                 | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(百万円) | 1株当たり<br>配当額<br>(円) | 基準日        | 効力発生日      | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 2023年6月29日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 474             | 12                  | 2023年3月31日 | 2023年6月30日 | 利益剰余金 |
| 2023年11月10日<br>取締役会  | 普通株式  | 475             | 12                  | 2023年9月30日 | 2023年12月8日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

当社グループは小売サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

顧客との契約及びその他の源泉から認識した収益は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

|                | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 2022年4月1日<br>至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 2023年4月1日<br>至 2023年12月31日) |
|----------------|--|--|
| 顧客との契約から認識した収益 |  |  |
| 物販売上           | 235,770  | 284,525  |
| その他            | 15,543   | 18,100   |
| 計              | 251,314  | 302,626  |
| その他の源泉から認識した収益 |  |  |
| リース売上(レンタル売上)  | 28,382   | 24,775   |
| 計              | 28,382   | 24,775   |
| 合計             | 279,696  | 327,401  |

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

|   | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 2022年4月1日<br>至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 2023年4月1日<br>至 2023年12月31日) |
|---|--|--|
| (1) 1株当たり四半期純利益   | 170円53銭  | 235円21銭  |
| (算定上の基礎)  |  |  |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)   | 7,232  | 9,308  |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円)   |  |  |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)  | 7,232  | 9,308  |
| 普通株式の期中平均株式数(株)   | 42,413,577                                     | 39,575,220                                     |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益  | 169円87銭  | 233円57銭  |
| (算定上の基礎)  |  |  |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(百万円)  |  |  |
| 普通株式増加数(株)  | 165,474  | 277,564  |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 |  |  |

## 2【その他】

2023年11月10日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

配当金の総額.....475百万円

1株当たりの金額.....12円

支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2023年12月8日

(注) 2023年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いました。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2024年2月8日

株式会社 ゲオホールディングス  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

名古屋事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 鈴木 晴久

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 水越 徹

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ゲオホールディングスの2023年4月1日から2024年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2023年10月1日から2023年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ゲオホールディングス及び連結子会社の2023年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記の四半期レビュー報告書の原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。